

ドラマのように生きてしまった、
サントリー名物宣伝部長の転身。



装幀・葛西薫

私の美術漫歩
広告からアートへ、民から官へ

若林覚
(元練馬区立美術館館長)

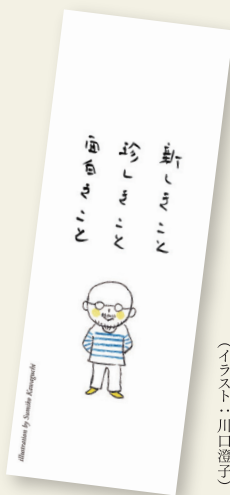
2017年まで練馬区立美術館館長を務めた若林覚は、サントリーの一時代を築いた数々の商品広告に携わり、テレビ番組、スポーツイベント、サントリーホールなどの文化事業も手がけた敏腕の広告マンであった。サントリー株式会社の宣伝事業部長・文化事業部長、サン・アドやサン宣弘社社長を歴任した後、サントリー美術館副館長を経て、練馬区立美術館館長に転身。「新しきこと、珍しきこと、面白きこと」をテーマに、新しい美術館のあり方を模索する！民から官へ、広告界から美術界へ、波乱に満ちた著者の「ドラマのようなドキュメンタリー」。

若林 覚 (わかばやし・さとる) 元練馬区立美術館館長(2010～2017年)。1949年山梨県生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。71年サントリー株式会社入社。宣伝事業部長、文化事業部長、サン・アド社長、サン宣弘社社長を歴任。この間、様々なCM、テレビ番組、スポーツイベント、サントリーホールなどの文化事業を提案・実施。88年日本宣伝賞松下(幸之助)賞、その他、総合広告電通賞3年連続、フジサンケイメディアミックス大賞3年連続、新聞広告賞4年連続など受賞多数。2006年サントリー美術館副館長。09年学芸員資格取得。現在はフリーで、「広告とアートのアドバイザー」。公益財団法人山人会理事、一般社団法人日本美術継承協会理事、BS朝日放送番組審議委員長など。

〈著者〉若林 覚 〈装幀・デザイン〉葛西薫・増田豊 (サン・アド)

〈仕様〉A5判/並製本 帯・カバー付、特製しおり付/290頁
カラー口絵他、モノクロ図版を多数収載

〈発行〉株式会社 生活の友社 〈定価〉本体 2,500円+税 ISBN978-4-908429-18-7



*特製しおり付
(イラスト・川口澄子)

最寄りの書店、amazon、または生活の友社
ホームページからご注文いただけます。

〈生活の友社ホームページ〉

www.tomosha.com/